

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2018No.118】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：グスタフ・マーラー

曲名：交響曲第 9 番ニ長調

演奏：ベルナルド・ハイティンク指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/51077>

概要：

2017 年 12 月 3 日ベルリンフィル大ホールの演奏です。



まず、12月4日早朝にライブ配信を BulkPet4 のモードで 384MHz にアップサンプリングしてヘッドフォンで聴いてみました。同時に PrimeSeat のライブ配信で BulkPet4 のモードで SWD-DA20 で受け 11.2MHz 配信と 5.6MHz 配信で聴いてみました。DAC は SWD-DA20 を使用しています。

意外だったのは、ベルリンフィルデジタルコンサートホールのライブ配信も音の肌理は若干粗いものの、鮮度感は DSD 配信に劣らないことです。DiGi Fi No.28 P141 の記事によれば、PrimeSeat の配信は、まずベルリンフィルで PrimeSeat の配信フォーマットに変換→ロンドンの IIJ Europe Limited に転送→日本の IIJ 配信プラットフォームに転送後、聴取者側に配信というプロセスをっており、ベルリンフィルデジタルコンサートホールのライブ配信は転送なしに配信されるので、このようなことに由来するのかもしれませんが。双方のアーカイブの配信をスピーカーを通して比較しながら聴いてみたいと思っていましたが、ベルリンフィルデジタルコンサートホールのアーカイブの公開の前に PrimeSeat の配信期限がきれてしまいました。

今回、DAC は Sonica DAC として、改めてアーカイブを聴いてみますと、ライブ配信では DAC は SWD-DA20 を使用し、ヘッドフォンでしか聴いていませんので比較

はできませんが、その後 Sonica DAC に PSI-2000 を使用していますので、音がしっかり分離してマーラーらしいフルオーケストラのスケール感はよく出ています。抑制の効いた神秘的なシーン、軽快なマーチ風の表現、金管が咆哮する盛り上がり、終楽章の消えゆくようなエンディングなど、多面的な表現をハイティンクの端正な指揮で引き出してくれています。

以上